

本日で1学期が終わり、明日から夏休みです。夏休みといっても、皆さんは補習や部活動、インターハイなどの各種大会、夏休み後半からは体育祭の練習など、忙しい毎日だと思います。加えて、今年は猛暑が予想されますし、感染症の心配もまだまだ続いていますので、体調には十分気を付けてください。また、事故なく有意義に過ごすためにも、普段よりは余裕のある時間を有効活用してください。その中で、普段はできないことへの挑戦や進路などについてじっくり考え、行動し、力を蓄えてください。

1学期を振り返ると、野村高校生のめざましい活躍に「わくわく」させてもらいました。県総体での相撲部、陸上部の優勝、四国総体でもこの二つの部は優勝してくれました。また、先日行われた全国高校野球愛媛大会では、全校が一体となって声を張り上げ、応援することができました。農業クラブでは、家畜審査県大会で団体、個人共に最優秀賞を独占、四国共進会でのグランドチャンピオンの受賞がありました。また、動物ふれあい部は週に一度ずつ中庭ふれあい活動を展開し、月に一度ずつの地域公開の取り組みを始めたことで、野村高校の知名度をアップさせてくれました。吹奏楽部の中庭コンサートも楽しかったですね。先生方のすてきなダンスも見られました。さらに、各学年の探究活動でも野村町に関する話題を深掘りして、興味深い活動を行ってくれています。ほぼ毎日更新されるHP等の記事を見ながら、野村高校のよさを感じ、しみじみ感じ、「わくわく」させてもらえた学期でした。そんな「わくわく」をくれる皆さんが、この夏休みという時間を使って、どんな経験をし、どのように成長するかを考えると、さらに「わくわく」しています。

「わくわく」という気持ちは人を動かす原動力になります。夏休みを前に、私自身は、夏休みに挑戦することとして「本を5冊読むこと」を挙げました。国語の教員なので、もともと読書は好きなのですが、最近は、仕事の合間などの隙間時間を利用した「細切れ」読書しかできていませんでした。読書という行為にどっぷり浸かって、登場人物の気持ちに寄り添ったり、実際には経験できないことをした気分を味わったり、という本を読む醍醐味を味わうことができていないように感じていました。4月以降、この学校のいろいろな場所に足を運んで新しい発見をたくさんしてきましたが、本校の図書館は、私がこれまで勤めてきた学校のどの図書館よりも、「わくわく」する空間です。入ってすぐの新刊図書コーナーには、「あれも読んでみたい、これも読んでみたい」と思う本がたくさん並んでいます。1学期は気ぜわしかったのもあり、小説のたぐいを手に取ることはできませんでしたが、先日、2024年4月発表の本屋大賞を受賞した「成瀬は天下を取りに行く」を借りました。高校生の成瀬のちょっと変わった考え方や行動に周りにいる友達は「わくわく」した気持ちを感じ、自分のいろいろな変化を認めていくのですが、私も「わくわく」しながら読み進め、あっという間に一冊読み終えました。今、続編の「成瀬は信じた道に行く」を読んでいるところです。皆さんも、読書感想文のため

に本を読むのではなく、1冊でも2冊でもいいので、本校の図書館で読んでみたいと思う本を借りて、新しい世界に挑戦してみたいはかがでしょうか。

また、3年生にとっては、自身の進路を左右する大切な時期でもあります。「進路の手引」にも書かせてもらいましたが、「させられる」勉強ではなく、少しでも視点を変えて、「わかるためにやりたい」と思える勉強の方法を見つけるなど、来る受験本番までの「準備」をしっかりしてください。幸い、本校には徳永先生をはじめ、生徒の皆さんの進路実現を心から願い、寄り添い、力を付ける術を持った先生がたくさんおられます。8月の後半からは体育祭の練習があることを念頭に置いて、前半で学習の目処を立て、計画的に体育祭まで乗り切れるよう、そしてその学習の習慣や意欲が受験本番まで継続できるよう、しっかりと「準備」をしてください。1・2年生の皆さんも、夏休みは早めに下校し、皆さんの健康や規則正しい生活を守りながら、自分の「しなければならないこと」は計画的にしまいをつけ、そして生み出した時間で「自分がしたいこと」に「わくわく」した気持ちで取り組むなど、一日一日を大切に、前向きに、有意義な夏休みを過ごしてください。

8月27日、2学期の始業式に、全員が元気で、一回り成長した姿を見せてくれることを期待して、1学期終業式の式辞といたします。